



THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

CHARTERED IN 2010

長野ワイズメンズクラブ 会報

2018年

11月第96号

THE Y'S MEN'S CLUB OF NAGANO

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS



2018~2019年度主題

国際会長主題「私たちは変えられる」"Yes, we can change"

アジア会長主題「アクション！」"Action"

東日本区理事主題「為せば、成る」

あずさ部部長主題「未来はそれに備える人のものである」

長野クラブ会長主題"Change, challenge, and charge"変わろう 挑戦しよう そして充電しよう



このことば

福島線会津の山間部の中学校で、映画「あん」（河瀬直美監督）の上映後、感想を言えずに固まってしまった女生徒を、全身で抱きしめ「私の同じだったんだやよ。一言もしゃべれない子だった。でも、胸の中にはたくさんの言葉があるのよね」女生徒は無言のままうなずいた。私たちが本能で知っている通り、あらゆる人間に対する深く豊かな愛情を希林さんは持ち合わせていた。だからこそ彼女のユーモアはきらめき続けた。（ドリアン助川）

11月例会

日時 2018年11月21日（水）

6:30pm~

会場 レストランやま

司会 福島 Y's

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング、ワイズの信条
3. 会長あいさつ 会長
4. ゲスト紹介 会長
5. 報告 あずさ部会、アジア賞ほか
6. これからの予定、やってみたいこと
ファン ド 吹き矢の体験会
5月11日の評議会 古切手
プルタブ集め
7. ワイズディナー
8. ニコニコ献金
9. YMCAの歌
10. 閉会点鐘 会長

時の当番

森本俊子

「小さな旅」という番組で栗の盛りの小布施を旅する回がありました。旅人のアナウンサーが、栗農家の二代目を訪ねて話を聞いている中にこんな言葉があり、心に残りました。今は栗の名産地となっている小布施ですが、一時期栗の木が減ってしまった時がありました。その時せっせと栗の苗木を植えた一代目のことを「お父さんは、時の当番だから植えるんだ。と言って苗を植えてくれた。」手伝ってくれる人たちと楽しそうに収穫をしているお嫁さんのこの言葉は強く印象に残りました。

自分の代には実がなくても、次世代に豊かな実りを届ける仕事。松代の小生物育成環境保全プロジェクトの皆さんも自分たちを「平成のはなさかじいさん」と呼んで、桜の苗木を育てて、寄贈し続けています。石巻に植樹したのをきっかけに、私たちの周辺にもマツシロエドヒガンを届け、広めるお手伝いをしたいと思います。私も家の近くの老人ホームに5本の苗木を届けることができました。下諏訪水月公園の千本桜の会へも寄贈が決まりました。時の当番になったような気がしています。

10月のデータ

在籍会員 13名
例会出席者 8名 例会出席率60%
ビジター 2名
ゲスト 1名

例会のご案内

毎月第3水曜日（9月19日）
18時30分から20時30分
ところ レストラン やま
連絡先 会長または書記へ
tokoton921@gmail.com（森本会長）
f69a9n@bma.biglobe.ne.jp（小林書記）

会長 森本俊子
副会長 福島貴和
書記 小林美彦
会計 倉石美津子
ブリテン 堀内雅俊
担当主事 露木淳司

10月の例会報告

出席者 岩田幸雄、勝田いつ子、久保田恵子、倉石美津子、小林美彦、（玉木一成）、堀内雅俊、森本俊子、

ビジター 廣瀬あずさ部長 廣瀬まさみメネット

ゲスト 長澤定人さん

あずさ部長の公式訪問で、廣瀬部長がまさみメネットと来訪、秋の長野をご案内することができました。例会には桜の苗木提供者長澤さんも参加してくださり、甲府21クラブの活動の実例を伺いながら、長野クラブにもやれることがありそうだと活発に意見が交わされました。

この日は「権バル」の日だったので、福島ワイズは例会を休んで「坊主バル」の店番。一同レストランやまの「バル」料理をさっさと済ませて、坊主バルを訪ねたところ、生牡蠣の評判はさすがに高く早々売り切れ。結局「海千山千」へ繰り出し、テーブル2つに分かれて大懇親会となりました。部長テーブルは介護の話などを真剣に話し、メネットと長澤テーブルではボランティア活動のあれこれを熱く語って、長澤さんは最終のバスを乗り逃してしまうほどでした。

部長は次の朝善光寺のお朝事に参加されました。お勤めを終えた福島ワイズが善光寺を案内してくれました。森本、玉木もご一緒させていただき、長野の東日本大会の早朝散歩のことを思い出しました。



廣瀬部長がまさみメネットと来訪されての例会の様子

あずさ部部大会報告

◎日時 2018年10月20日(土) 12:00 ~ 15:30

◎場所 岡島ローヤル会館 8階 ゴールドルーム

◎長野クラブからの出席者 勝田、倉石、小林、堀内、森本

◎記念講演 うつ病と認知症の予防～生活習慣とよい睡眠(深睡眠)からの提言～
甲府21クラブ 功刀弘メン(精神科医)

精神科医として55年、臨床にかかわっておられ、40年前に「睡眠と生活療法」という研究テーマで本も出して以来、臨床研究を続けておられます。

資料をいただいておりますのでお貸します。

◎アトラクション

第一部 山梨英和高校聖歌隊 合唱・ハンドベル

第二部 みんなで楽しく歌おう 指導:杉田博子(歌唱)・依田和枝(ピアノ)・滝本はる美(ピアニカ)

第三部 杉田博子ソプラノ独唱

部大会のあと、森本、倉石、勝田の三人で、長野クラブの生みの親、平原貞美ワイズのお通夜にお伺いしお参りさせていただきました。会場まで山梨 YMCA のバスで送り迎えしていただきました。



『みんなで楽しく歌おう』の楽しいひととき

「産みの苦しみの時を迎えて」

2018年度の上半期が終わりました。YMCAの事業はここ数年確実に拡大しています。ただ、拡大傾向の時は、設備投資や人材確保のために、基本的に収入よりも支出が先行します。一歩間違えばたちまち運営は厳しい局面に陥ります。ただ、ひとたび軌道に乗ってしまえば、経費は落ちつき安定した財務状況になるでしょう。今、高齢者の介護事業「ぶどうの木」に続き、発達障がい児支援事業「きらきら教室」が軌道に乗り出しました。これで学童保育「プライムタイム」、英語学校、野外活動に加えて5本の柱となっています。新会館建設後はさらに6本目として0, 1, 2歳児のための小規模保育所を計画しています。このすべてが安定すれば山梨YMCAのお城は安泰、ちょっとやさつとの地震や台風では揺るがない建物となるでしょう。今はまさに産みの苦しみの時だと思えます。職員たちは赤ちゃんが生まれるときと同じように、不安でいっぱい母親やその家族の気持ちで日々過ごしています。2020年のグランドオープンまであと1年半、無事出産のときまで、こぎつくことができるか、まさに神のみぞ知るといった感じです。でもそこはYMCA、ただひたすら主のお支えと導きを信じて、強い意志と希望をもって、日々与えられた職務を迷わず粛々とこなし、前進していくのみであります。

この11月より正式に山梨YMCA75周年記念新会館建設募金が始まりました。何卒皆様のご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

これからの予定

11月21日(水)例会
12月19日(水)例会

2019年2月9日(土)あずさ部第二回評議会ホストは八王子クラブ

2019年5月11日(土)長野クラブホストで、あずさ部第三回評議会

クラブ費の振り込みをお願いします

ワイズ会費を払うことが、ワイズ活動のボランティア参加に直結しています。

今年度前期会費(7月～12月)18000円のお振り込みをお願いします。(1年分は36000円です)

八十二銀行 昭利通営業部番号214)

普通預金 □座番号 871118

長野ワイズメンズクラブ会計

倉石美津子

桜植樹の顛末

2018年11月21日

長野クラブ会長 森本俊子

2017年9月初旬石巻茨浜地区の支所など高台移転に伴い構内に教え石を建立する話が入る。富士山例会で石巻広域クラブ日野会長から桜植樹のプランを聴く。

日野会長長野クラブ例会訪問。須坂市の担当者訪問、桜の寄贈要請を計画するも不成立。造園業者に依頼し枝垂桜購入。クラブ員から例会時に1万円の寄付いただく。10月28日「教え石の除幕式」に贈呈の予定だったが現地がまだ人の住む状態まで出来上がっていないとのことなので、植えてもシカなどに芽を食われてしまう恐れ大ということで、とりあえず目録贈呈だけ行う。(利根川理事が贈呈者代行してくださる)

半年後、購入した苗木は大きくなりすぎ、業者にプラス1万円の保管料を払って引き取ってもらう。移転工事はまだ進まなかった。

そのころ松代のエドヒガン桜を育てている人たちがいることを知る。豊栄小学校の120周年記念としてもPTAが植樹したニュースを知り、石巻にも分けてもらえないかを打診。

沼津での区大会の折、お会いした石巻広域クラブメンバーで「教え石」実行委員長清水さんにお話し、植樹の話を進めていただく。おおよそ10月半ばとの予定が出る。

9月例会に桜の会(環境保護パートナーシップ、小生物育成環境プロジェクト)の長澤定人さんに例会にお越しいただき、寄贈いただく桜がどのようにできたか、今どのように育てているかを伺った。会ではオオムラサキの保護区域を管理したり、松代町周辺に自生しているエドヒガン桜の中でも特に濃い紅色をしているエドヒガンを選んで、種を採取し、苗木を作った話、1000本も芽が出て、2年目には接ぎ木も行って、3年目となった、来年は花が咲くと思う。高齢者が苗を育てているので、「松代千本桜大作戦」「桜が世代をつなぐ」をキャッチフレーズに活動を進めている。などと夢のあるお話を伺う。

10月12日には 福島、倉石、小林、岩田、久保田、勝田格ワイズも立ち会い、桜の会の方たち10数人も重機を駆使して苗木の掘り出し、贈呈の会を開いていただいた。

(次ページへ)

清水さんから10月14日に教え石を作成した荻浜中学校の生徒や先生全員が参加し、教え石のプロデューサー東京むかでクラブの城井廣邦ワイズほか仙台市内のワイズの面々大野勉西日本直前理事も立ち会って大々的に植樹会が行われることになった。

はじめは苗木を送るか2, 3人で手に持って行くつもりだったが、結局大事になってしまった。あれこれ打診したり、検討したりした末、倉石、玉木、小林、森本の4人とボランティアの岸田さんが、麻場誠一郎さんの車椅子対応車両をお借りし、千葉県酒井英朗さんに運転をお願いして石巻の現地まで、一泊2日で植樹に行くことができた。14日の晩は仙台で交流会まで開いていただいた。

当日は「がんばろう石巻」の看板のある地域を見せていただき現地には50人近い出席者が集まり、植樹会が行われた。

初めに、荻浜中学校生徒全員(9人)と先生も数人入って獅子風流という獅子舞が披露された。笛や太鼓も決してすごくうまいとは言えないけれど、演技担ぎで頭を噛むしぐさをしてもらい、神がついた気がした。

森本が桜の苗後を育ててくださった会からのメッセージを読みあげ、倉石ワイズをはじめ地域や生徒の代表が植樹を行った。生徒代表の後藤波琉さんが「津波がまた来たら、この桜を目指して高台に逃げてほしい、桜が咲いたら身に来てほしい、その時自分たちがみんなで考えて作った津波の教え石も見てほしい」とあいさつしてくれたのには心底感動した。

当日の様子は新聞やテレビにも取り上げられた。

経費は18万円ほどかかったが、東日本区からも補助をいただけるよう申請している。

車いす対応車両の借用については、大日方勇氏に大変お世話になりました。お礼を申し上げます。